

硬式野球部 並木秀尊選手が プロ野球・東京ヤクルトスワローズから指名

10月26日に行われたプロ野球ドラフト会議で、硬式野球部の並木秀尊選手(済4年)が東京ヤクルトスワローズから5位指名を受けた。NPB(日本野球機構)所属球団からの指名は開学以来初の快挙。当日、学生センター雄飛ホールで指名を待った並木選手は、その瞬間が訪れると集まった硬式野球部の4年生部員らと喜びを分かち合った。10月30日には球団による指名挨拶、11月27日に仮契約がそれぞれ本学で行われた。その後、並木選手は球団と本契約を締結。晴れて東京ヤクルトスワローズの一員となった。

並木選手は、部活動と勉強とを両立する目標を持って2017年4月に本学に入学した。亀田晃広硬式野球部監督は「入部当時から身体能力が高く、特に走塁には目を見張るものがあったが、本人が自分の才能に気づいていなかった。どうすれば本人に気づいてもらえるかを考えながら接してきた」という。部員同士が話し合って自主的に活動方針や練習メニューを決めるという硬式野球部の環境の下、並木選手は主体的に部活動に取り組むようになった。その結果、3年春・秋と4年秋のリーグ戦でベストナイン賞を受賞するまでに成長した。

並木選手がプロ野球スカウトに注目されるきっかけとなったのは、2019年11月の大学生全日本代表候補

合宿。同合宿には例年、選考委員会から選出された全国の有力選手が集まる。本学硬式野球部のように2部所属チームだと、選手はなかなか注目されない。そこで亀田監督と上田樹マネージャー(独4年)は、過去の試合映像から並木選手の俊足ぶりが分かるものを厳選し提出。それが選考委員の目に留まり、異例の代表候補入りを果たした。並木選手は、この合宿で行われた50m走で参加メンバー中、最速タイムを計測した。さらに紅白戦では3安打を放つなど、スカウトに「獨協大学・並木」の名を強く印象付けた。これを契機に、各種メディアへの露出も一気に増えた。並木選手は「代表候補合宿を経験することで、これまで憧れだったプロ野球が具体的な目標に変わった」と振り返った。

昨年の一時期は、プロ入りを目指す上で大事な時期にも関わらず、思うような練習ができない日が続いた。「こんな時こそ自分が成長する機会だ」と捉え、トレーニングに励んだ。近所に住むチームメイトや中学時代の友人が練習相手になってくれた。本人の努力と周囲の協力が実を結び、プロ野球への扉が開かれた。



指名された瞬間、亀田監督(左)と握手する並木選手(右)

獨協大学GLOBAL FRONTIER: Virtual Fair 2020開催(10/19~10/28)

国際交流センターは毎年、学生に留学・海外体験に対する情報を提供し、早期からの準備を促すことを目的とし、政府・文化団体等の協力を得て「留学フェア」を実施している。今年度の留学フェアは、オンライン形式による「Virtual Fair 2020」として、10月19日から28日まで開催した。期間中の昼休み時間帯に14のミニセミナーをリアルタイムで配信したほか、留学経験者によるオンライン相談会も行った。ミニセミナーでは、最新の留学・渡航情報、留学計画の立て方や準備、今すぐ実践できる語学学習法などを紹介。海外渡航が困難な時期ではあるが、多くの学生にとって留学・海外体験への理解を深め、目標実現に向けて一歩を踏み出す契機となった。ミニセミナー資料・動画は一部を除き、PorTa II掲示板【留学支援・国際交流】に掲載中。現在国際交流センターではメール・Zoom等による留学相談を受け付けている。



令和2年秋の叙勲 酒井府元学長が瑞宝中綬章を受章

11月3日、秋の叙勲受章者の発表があり、酒井府元学長・名誉教授(86歳)が研究と教育に関する功績により「瑞宝中綬章」を受章した。これは国家または公共に対する公務等に長年にわたり従事し、成績を挙げた人に授与される日本国の勲章の1つ。

本学では、12月9日に叙勲祝賀会を開催し、学長をはじめ教職員が受章を祝った。酒井名誉教授は「今回の叙勲は、獨協大学に関係するみなさんが支えてくださったからこそ受章できたものです。今後も元気に研究を続けていきたい」と述べた。

酒井名誉教授は、76年ドイツ語学科教授に就任、同学科長、学生部長、外国語学部長などを歴任し、その後、93年8月から96年3月まで学長を務め、その間学校法人獨協学園理事・評議員も務めた。また、2011年から現在に至るまで世界文学会の会長も務めている。



妻・明子さんと酒井元学長(写真中央にあるのが勲記)

学友会 新役員一覧

第57期 学友会		第57期 文化会		第57期 体育会		第47期 愛好会		第57期 監査団	
委員長 井下 裕二朗 (いした ゆうじろう) (律2年)	副委員長 田村 瑞貴 (たむら みずき) (英2年)	委員長 永野 優花 (ながの ゆうか) (英2年)	副委員長 吉水 七絵 (よしみず ななえ) (環2年)	委員長 川原 来希 (かわはら らいき) (営3年)	副委員長 多田 愛理 (ただ あいり) (営3年)	委員長 イ ジュヨン (い じゅよん) (仏2年)	副委員長 小原 卓真 (おはら とうま) (律2年)	団 長 高田 歌帆 (たかた かほ) (律2年)	副団長 森下 敬也 (もりした たかや) (律3年)